

3. 4年生向け

学校図書館だより

令和5年9月 座間市立東原小学校図書館



がっき
二学期がスタートしました。

少しずつ秋の気配けはいを感じるようになり、本を読むのにとってもいい季節きせつになりました。
新しい本もたくさん入ってきたので、いろいろなお話にふれてみてくださいね。

新しい本をしょうかいします



楷成社

『食すいねえ！ お寿司すしまるごと図鑑ずかん』

ふくち きょうこ かんしゅう あべ ひでき
福地 享子 監修 阿部 秀樹 写真・文

せかいてき
世界的に高い注目をあびる和食の代表であり、子どもから
おとなまで大人気の食べ物、お寿司すし。
そのすべてがこの一冊さつでわかります。



ポプラ社

『グレッグのダメ日記 なんだって、やってやる！』

ジェフ・キニー 作 中井 はるの 訳やく

お金も持ちになりたい！人気者ものになりたい！モテたい！
そんな、グレッグのダメダメな毎日が書かれています。



ブロンズ新社

『ぼくはいつだってどこにいるんだ』 ヨシタケシンスケ 作

じぶんのことを地図にしてみると、わかることがたくさん
ある！いまどこにいるのか、このあとどうしたいのか、なに
が大事なのか…。地図って、おもしろい。

9月は防災月間！防災クイズにちょうせん

答えは、学校図書館
の本を読んでみてね

1,じしんがおきたら、
まず、どうする？



『子どものための防災BOOK 7 2時間生きぬく
ための101の方法』
童心社

2,外であそんでいたら
とつぜんかみなり！
さあ、どこににげる？



『防災・防犯シュミレーション』
ほるぷ出版

2023年

じゅうごや
9月29日は十五夜！
お月さまの本を読んでみよう！



むかし(旧暦がつかわれていたころ)は、7月から9月までが「秋」とされており、まんなかにあたる8月は「中秋」とよばれました。この月の15日(十五夜)の夜に、お月さまは「中秋の名月」といわれ、収穫を祝ってお供えをし、月見をする風習がありました。これは平安時代に中国から伝わり、しだいに広まっていきました。

秋の収穫が始まるころともかさなり、「お月見」の行事には、収穫祭の意味もこめられています。現在では、9月後半から10月の初めごろにあたります。

「和」の行事えほん 秋と冬の巻 高野 紀子 作 あすなろ書房 より

『お月さん ももいろ』

まつだに 松谷 みよ子 文 いくち らみひで 井口 文秀 絵



ポプラ社

とさ げんざい こうちけん
土佐(現在の高知県)の海でとれるももいろさんご。しかし、身分の低いものはもつことがゆるされない。かな 悲しいけれど、美しいお話です。

『神出鬼没！月夜にドッキリ 宇宙スパイ ウサギ大作戦』

おかだ きくこ 岡田 喜久子 作 ミヤハラ ヨウコ 絵



理論社

うちゅう
宇宙のかなたからやってきた、スパイ学校を卒業したてのウサギ。はたしてウサギスパイの仕事とは？

『日食・月食のひみつ おいしいお月見』

せきぐち シュン 絵・文 きむら なおと 木村 直人 監修



こどもの未来社

さま たいよう か
お月さまや太陽が欠けるということを学校で聞いてきたサツキとヨウスケ。それって、お月さまがなくなるってこと？

『オウマガドキ学園14 あやしい月夜の通学路』

つねみつ とおる へんしゅう 常光 徹 編集 他



童心社

「天気」や「天体」にまつわる、妖怪たちのこわいお話やふしぎなお話です。